

小島塾 湘南国際村セミナー 2001年 8月26日

東京エグゼクティブ・サーチ株式会社社長 加藤 春一

特別講師：武山 泰雄 元日本経済新聞常務論説主幹

ジャーナリスト界の巨魁 瀬島 龍三氏と並んで歴代首相に直接提言出来る数少ない
ご意見番であると同時に世界中の指導者から

「perceptive world observer」として高い評価を得ている。

武山先生が小島塾セミナー講師参加の理由：

小島慶三先生については竹下元首相に対して日本の竹下政権以降の政治家は全く駄目で碌な政治家はいないと直言したところ、竹下首相が確かに衆議院を見回したところ皆政治屋で本物はいないし、参議院も同じレベルで戦略を語れる本当の政治家はいないなあーこれが日本の政治家の現状だけど参議院に一人だけいるよ。あえて本物と言えば小島慶三先生くらいだろうといわれた言葉が脳裏にあったので、本日小島先生たってのお願いということで全国小島塾の方々にお話をさせていただく。

普通は-泰山会-70名に限定した日本の代表的会社の社長、官界、政界の代表的な人にも一月に一度の講演しか受けないし、情報は外部に絶対に出さない。
何故ならば、全て世界の元首相、大統領を含め現職のトップからの情報を分析して自分の考えに基づいた日本国家への提言としてしか話さないから。

5つの以下の事前予測記事を本人署名入り記事にて掲載。

(1969-1984)

日本人初めてのポーン賞を受賞。

1. ニクソン訪中 45日前。
2. 毛沢東の林豹暗殺。
3. ベトナム戦争終結の具体的最終プログラム
4. 円 の360円 を308円発表前に事前予告
5. イランシヤ政権崩壊を日時を含めて予測

当時の経団連会長 鈴木永治氏に2000億円の投資を断念させた。

瀬島龍三氏は賛成の立場。

広島原爆の被爆者で死を何度も宣告されて生き長らえてこられた。

世界の主要国家の現職首相、大統領と直に話せる唯一の日本人ジャーナリストと言われ
奥様はアメリカ人。ジョージワシントン大学戦略研究所名誉会員

ポイント：

1. 日本は世界でロシアと並んで最も嫌われている国家であることを国民一人一人が正しく認識するべし。

理由は自国防衛を他国におんぶに抱っこで依存し金だけ稼いだ金権体質国家で金亡者の情けない国民に成り下がった。

今迄のただ乗りのつけを全部払わされる、言わば第3次戦争を仕掛けられていると認識しないと、根こそぎに欧米資本に食われてしまう危機感が日本の指導者に絶対的に欠如している。

政治家、官僚、財界全ての指導者が極楽トンボで末期的症状にある。
2. 2004年が最も難しい選択の時。

アメリカ大統領選挙、韓国、台湾選挙、ベトナムのカムラン湾のロシア租借権返還-誰が買うのか、-

国家戦略が全く無い駄目国家に成り下がった。明治の政治指導者であったらカムラン湾は買う。——日露戦争の遼東半島とYELLOW SEAを抑えた戦略を考えるべき。
3. エシエロンによる情報の完璧なコントロール：

殆どのトップのレベルの情報は完全に傍受されている。三沢基地に250億円で新たにエシエロンの設備建設予定。

ダイアナの睦言は全て傍受され英国謀報機関に殺された。自分も全て盗聴されているが自宅の周囲3キロNTTのトップや防衛庁のトップにお願いしても盗聴機械は見つからなかった。技術的に巧妙になっている。
4. アジア、日本、世界の景気を回復させる特効薬は中国元の大幅切り上げで世界経済は回復する。日本が大幅な円高で世界を牽引したように一
5. これからの日本人に望む提言：
 - ・ INTELLIGENTであれ——
INFORMATION, INTERPRETATION
INTEGRATIONを経てINTELLIGENTになる。
個人の個別の知力、判断力が重要。——個人で常に戦略構築しろ。
 - ・ ENLIGHTENED NATIONALISTであれ——
INDIVIDUALISTIC (NATIONALISTIC個別的) であって同時にUNIVERSALであれ
 - ・ ESSENTIALであれ：
常に本質を考え個人、地域、国家戦略を自分なりにつくれ。
6. 日本人で世界中から尊敬され心から仰がれている人材は全て精神的レベルで判断されていた。極めて日本的であって同時に普遍的であった。

内村鑑三 キリスト教徒であって武士道精神を持つ。

新渡戸稲造 国連事務次長——東京女子大創設、キリスト教徒
朝河 寛一 エール大学博士——天皇——マッカーサーを結びつけた。
厳格なキリスト教徒。

内村 鑑三の尊敬する代表的日本人-西郷隆盛、上杉鷹山、中江藤樹、二宮尊徳、
日蓮の5人であった。

世界的に見ても偉大な芸術家、ミケランジェロ、ゲーテ、ドストイェフスキー、
ベートーベン、シェイクスピア-等全て強烈なNATIONALISTであった
が一方でUNIVERSALであった。

追記：小生は1982年から現在まで小島塾に属しており約20年お世話になり
拙著「世界一美しい町パース」の巻頭文も小島 慶三先生に書いて頂いた。小
島先生は転職10回の最も転職を経験したご人財ですが以下略歴です。